

「28年度重点取組事項」進捗状況管理表

【参考】

重点取組事項	取組事例	28年度目標値	目標値	上半期実績値	28年度実績値	実行計画	上半期進捗状況	28年度進捗状況	備考	
1 患者の 状態に 応じた 医療の 提供	(1) 急性期医療への対応	救急医療への確実な対応	救急車受入件数	4,400台	2,113台	4,475台	①救急受入目標の共有 ②救急対応病棟の運用 ③救急受入状況の検証 ④救急受入制限の検証 ⑤消防署等へのPR ⑥お断りの定義化	①目標値設定・救急医療委員会で共有 ②日々の運用の救急医療部長によるチェック、 救急医療委員会での運用見直し等の協議 ③・④救急医療部長が中心となつてのチェック ・個々の確認・指導、 救急医療委員会での全体的な協議 ⑤各消防署との救急医療部長による情報共有 〔随時〕、 津島市消防との情報交換〔毎月〕・各消防署と の情報共有〔随時〕 ⑥お断りの定義化(お断り内容の精査)	①救急外来に目標値を掲げ共有 ②日々の運用の救急医療部長によるチェック、 救急医療委員会での運用見直し等の協議 ③・④救急医療部長が中心となつてのチェック ・個々の確認・指導、 救急医療委員会での全体的な協議 ⑤各消防署との救急医療部長による情報共有 〔随時〕、 津島市消防と医事課との情報交換〔毎月〕 ⑥お断りの定義化	お断りの中には、重症患者が重なった場合や入院患者の急変への対応、緊急手術など止むを得ずお断りとなったものも含まれるもの。それ以外の受入困難な状況(体制的な要因など)については解消に努める。
		紹介・逆紹介の充実	紹介件数	15,000件	7,486件	14,310件	①医師を中心とした定期的な医療機関への訪問 ②診療科のPR ③公開講座・イベントなどの充実	①医療機関訪問108件(うち医師21件) ②機関紙による情報発信(4月・7月) ③公開講座10回・イベント2回	①医療機関訪問349件(うち医師31件) ②機関紙による情報発信(4月・7月・10月・1月) ③公開講座15回・お出かけ講座5回・イベント4回	
		専門性の高い医療の提供	手術件数(手術室)	2,155件	1,141件	2,244件	①手術室運用の検証	①-	①-	必要に応じて
	(2) 回復期病棟の充実	充実したリハビリの提供	リハビリ単位数	160,300単位	73,427単位	145,254単位	①1日18単位の実施	①計画41人を実質36.25人体制で運用中	①36.05人体制で運用	1月末で作業療法士1人退職。0.2人分マイナス。
(3) 在宅医療への貢献	地域包括ケア病棟における院外からの受け入れ	病床稼働率	83.2%	77.1%	80.8%	①他病院・居住系介護施設・在宅からの受け入れ	①院外から受入開始(8月～)	①院外急性期からの受け入れ(17件)、 在宅からの受け入れ(17件)		
	円滑な連携による退院支援	退院支援加算I算定件数	1,300件	799件	1615件	①MSWの早期介入 ②後方支援施設への訪問による連携強化	①入院早期での患者家族との面談実施 ②MSWによる後方支援施設訪問(36件)	①一週間以内の面談実施 ②MSWによる後方支援施設訪問(51件)		
(4) 緩和ケア医療の充実	訪問看護による支援	訪問件数	4,300件	2,073件	4246件	①認定看護師との同行訪問 ②病院看護師・MSWとの連携強化 ③在宅看取りに対するシステム構築	①同行システムの構築・訪問 ②看護サマリー活用を検討 ③-	①地域医療センターや看護専門委員会と連携し 同行、 システム構築中 ②病院看護師の退院後訪問に同行、 情報交換 ③-	在宅看取りに向けてのシステムは着手できなかった。	
	緩和ケア病棟の有効活用	1日当たり入院患者数	12人	12人	12.7人	①緩和ケア外来の運用強化 ②入棟審査会の運用強化 ③入院体制の見直し ④地域緩和ケア学習会の開催	①他院紹介患者の面接増(9月～) ②審査会の継続的開催 ③在院日数の短縮化 ④学習会の定期開催	①他院紹介患者の面接増加 ②定期的に入棟審査会実施(待機患者増加) ③在院日数の短縮 ④学習会の定期開催		
2 財務体 質の 改善	(1) 各部門の目標の明確化	各部門における目標の設定	-	-	-	①経営会議での目標の明示・共有	①目標の明示・共有	①目標の明示・共有、進捗状況の把握・共有		
		入院における目標値の設定	1日当たり入院患者数	358人/月	343.4人/月	328.2人/月	①診療科別目標値の設定・共有	①目標値の設定・共有(診療局での掲示)	①目標値の設定・共有、 診療局内「診療実績コーナー」の設置	
	(2) 新入院患者680人/月の確保	新入院患者の確保	新入院患者数	680人/月	607人/月	613人/月	①院内における目標の共有 ②救急・紹介・外来等からの患者の確保 ③自治体病院共済会を納入業者に追加 ④価格交渉	①目標の共有 ②患者確保 ③自治体病院共済会を追加 ④価格交渉	①目標・実績の共有 ②患者確保 ③自治体病院共済会を追加 ④価格交渉	
	(3) 経費の見直し	薬品費の削減	薬品費削減額	200万円	-	400万円	①価格交渉	①価格交渉	①価格交渉	
(4) 一時借入金の解消(縮小)	材料費の削減	材料費削減額	100万円	-	100万円	①価格交渉	①価格交渉	①価格交渉		
	委託費の削減	委託費削減額	1,420万円	-	-	①長期継続契約を視野に入れた委託内容の見直し ②委託業者の比較・検証	①- ②-	①委託内容についての詳細検討 ②-	①長期継続契約までは至らなかった。	
(5) 一時借入金の解消(縮小)	取入増加・経費削減の計画化	資金不足比率	10.6	-	8.4	①資金不足解消計画の策定 ②実行スケジュールの設定・推進	①計画策定 ②スケジュール設定・推進	①資金不足解消計画策定 ②実行スケジュール設定・推進		
3 効果的 な広 報戦 略	(1) 広報委員会の取り組み強化	院内報の作成	-	-	-	①掲載内容の改善	①-	①-		
		病院パンフレットの作成	-	-	-	①掲載内容の更新	①-	①掲載内容の更新		
	(2) 前向きな情報の定期的な発信	ホームページの見直し	-	-	-	①委託業者の決定 ②新デザインの決定 ③運用開始 ④SNSの利用ガイドライン策定	①業者決定 ②- ③- ④-	①業者決定 ②新デザインの決定 ③運用開始準備 ④-		
(3) ケーブルテレビの活用	市政のひろばの活用	-	-	-	①院長コラムの掲載 ②わたしのカルテ掲載 ③ポジティブな情報の掲載	①4・6・8月掲載 ②毎月掲載 ③-	①4・6・8・10・12月掲載 ②毎月掲載 ③-			
	ケーブルテレビを活用した情報発信	-	-	-	①発信情報の検討 ②ケーブルテレビ番組(コーナー)での情報発信	①検討中 ②-	①発信情報の検討 ②-			
4 人材の 育成	(1) 職員の専門性の向上	学会等への参加促進	学会等への参加者数	延350人	延279人	延489人	①参加補助	①参加補助	①参加補助	
		院内研修の充実	院内研修参加者数	延600人	延468人	延933人	①院内研修会の開催・参加促進 ②職場内研修会の推進 ③教育・研修委員会の開催 ④有資格者による院内研修会の実施	①8回開催 ②- ③6回開催 ④-	①19回開催 ②- ③11回開催 ④-	
		放射線技師の育成	CT・MRI特殊撮影対応技師数	8名	-	10名	①CT・MRI技師の育成 ②RI技師の育成	①育成中 ②育成中	①8名育成 ②2名育成	
		薬剤師の育成	認定薬剤師新規取得	7名	4名	4名	①認定薬剤師の育成(取得申請)〔5月～〕	①漢方薬・生薬認定薬剤師1名、日本病院薬剤師会生涯教育認定薬剤師3名取得	①漢方薬・生薬認定薬剤師1名、 日本病院薬剤師会生涯教育認定薬剤師3名	①がん薬物療法認定薬剤師(29年6月申請予定者2名)、褥瘡学会認定薬剤師(29年2月申請中1名)、感染制御認定薬剤師(29年8月申請予定者1名)
		臨床検査技師の育成	超音波検査対応技師数	5分野各1名	-	-	①専門性の高いエコー技士の育成(腹部、乳腺、心臓、血管、甲状腺各1名)	①育成中	①育成中	心臓、腹部が遅れている。他は順調。 産休等で余裕がなくなるルーチンをこなす事が精一杯になっている。
		診療情報管理士の育成	診療情報管理士によるDPC病名変更点数増	8,300,000点	4,354,984点	9,854,055点	①医療の質向上・経営分析の担い手となる管理士の育成(通年)	①育成中	①データ整理、 分析能力の向上	
	(2) 職員意識の向上	院内会議の効果的運用	-	-	-	①経営会議の毎週開催 ②常置委員会の活性化	①毎週開催 ②認知症、栄養、感染対策等の委員会(チーム)設置	①経営会議の毎週開催 ②「認知症」「栄養」「感染対策」等の委員会(チーム)設置、 次年度体制の見直し		
(3) チーム医療の推進	原価計算システムの活用	-	-	-	①計算結果の提示	①-	①診療科別損益表(27年度)の作成			
	病院の現状・課題の共有	-	-	-	①院内会議等結果の周知 ②市からの意見等の周知 ③議会からの意見等の周知	①院内会議結果の周知 ②市長・院長等意見交換会結果の周知 ③一般質問答弁、厚生病院委員会・調査特別委員会結果の周知	①院内会議結果の周知 ②市長・院長等意見交換会結果の周知 ③一般質問答弁、厚生病院委員会、調査特別委員会結果等の周知			
(4) チーム医療の推進	院内連携・協力体制の強化	-	-	-	①各部署の認識の共通化 ②プロジェクトチームの活用	①平成28年度病院目標による周知 ②ホームページ見直しプロジェクトチームの設置	①28年度病院目標による周知 ②ホームページ見直しプロジェクトチーム設置			